



ふれあい支え合い助け合い

いきいきネット通信

発行者 東海小・中学校区

小域福祉ネットワーク

会長 苺米 榮次

編集責任者 広報部長 庄司 宏

会長就任のご挨拶

会長 苺米 榮次

平成29年5月開催の定期総会において、川名博之会長の後任として会長に就任いたしました苺米（海保地区の上郷町会）でございます。東海小・中学校区の地域福祉の向上に資するため、役員をはじめ関係者一丸で取り組んでまいりますので、地区民の皆様方のご理解ご協力を引き続きお願い申し上げます。

本ネットワークは、設立以来、継続的かつ献身的に活動されてきた川名会長をはじめ数多くの役員の方々の尽力によって組織が確立され、その運営も安定化し、活動拠点施設である「いきいきセンター東海・

海上」とともに地区民に認知されてまいりました。改めまして関係者の皆様に感謝とお礼を申し上げます。

市原市の福祉施策の一環としての小域福祉ネットワーク事業は、まさに地域の福祉力が期待されているものと認識しております。誰もが

住み慣れた地域で安心安全に暮らせるように、本ネットワークが少しでもお役にたてれば幸甚であります。



平成29年度定期総会報告について

総務部長 藤田 茂

「いきいきネットワーク」の総会は、前回までは東海小学校で実施してきましたが今年度は初めて「いきいきセンター東海・海上」において、平成29年5月21日（日曜日）の午後3時から実施されました。当日は、総会に先駆けての理事会、総会終了後には、いきいきセンター運営協議会総会も実施されるなど、ハードな1日でした。

総会では、地元の市議会議員をはじめ多くのご来賓の皆様方のご臨席のもと、東海・海上の町会長をはじめ関係諸団体の構成員86名中68名（委任状を含む）の参列をいただき、執行部から提案されました以下の7議案が審議され、全て原案どおり承認されました。

- 第1号議案 平成28年度事業報告について
- 第2号議案 平成28年度収支決算報告について
- 第3号議案 平成28年度監査報告について
- 第4号議案 小域福祉ネットワーク規約改正（案）について

- 第5号議案 平成29年度役員・理事・評議員（案）の承認について
- 第6号議案 平成29年度活動方針及び活動計画（案）の議決について
- 第7号議案 平成29年度収支予算（案）の議決について

また、議決された活動計画は次のとおりです。

- (1) 広報紙（いきいきネット通信、瓦版）の発行
- (2) 高齢者への見守り支援体制の推進
- (3) 子どもの健全育成の推進
- (4) 防犯・交通安全対策の推進
- (5) 地域防災対策の推進
- (6) 運営協議会との連携強化
- (7) 安心生活見守り支援運営委員会事業の推進
- (8) 避難所運営委員会事業の推進

平成28年度収支決算報告を次のページに記載致しますが、役員・理事・幹事・評議員については、既に瓦版にてご紹介しておりますので割愛致します。

平成28年度 収支決算報告 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	収入金額	462,910	円
	支出金額	372,346	円
	差引残額	90,564	円
	次年度繰越金	90,564	円

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予算額	補正額	決算額	増 減	備 考
1 繰越金	50,910	50,910	50,910	0	
繰越金	50,910	50,910	50,910	0	
2 助成金	322,000	382,000	382,000	0	
(1)千葉県地域福祉フォーラム助成金	0	0	0	0	
(2)市原市地域福祉活動助成金	120,000	120,000	120,000	0	
(3)五井地区社会福祉協議会	20,000	80,000	80,000	0	
(4)東海地区町会長会助成金	159,000	159,000	159,000	0	
(5)海上地区町会長会助成金	23,000	23,000	23,000	0	
3 その他	10	30,010	30,000	△10	茶話会準備・運営費
雑収入	10	30,010	30,000	△10	
収入合計	372,920	462,920	462,910	△10	

【支出の部】

科 目	予算額	補正額	決算額	増 減	備 考
1 運営費	0	0	0	0	
(1)会議費	0	0	0	0	
2 事務費	35,000	80,000	79,432	△568	
(1)消耗品費	30,000	80,000	79,432	△568	事務消耗品他
(2)通信費	0	0	0	0	
(3)交際費	5,000	0	0	0	
3 事業費	120,000	98,300	95,914	△2,386	
(1)広報活動費	30,000	20,000	14,856	△5,144	広報紙発行
(2)青少年部会活動費	5,000	1,300	1,300	0	通信費
(3)高齢者部会活動費	15,000	10,000	8,680	△1,320	通信費・会議費
(4)環境部会活動費	15,000	15,000	14,905	△95	誘導灯・メガホン他
(5)防災部会活動費	15,000	15,000	12,773	△2,227	会議費・通信費
(6)地域福祉増進費	40,000	37,000	43,400	6,400	福祉事業
4 センター運営費	182,000	182,000	182,000	0	センター運営助成
(1)センター運営費	182,000	182,000	182,000	0	
5 研修費	15,000	15,000	15,000	0	視察研修補助
(1)研修費	15,000	15,000	15,000	0	
支出計	352,000	375,300	372,346	△2,954	
6 予備費	10	87,620	90,564	2,944	
(1)予備費	10	87,620	90,564	2,944	
支出合計	372,920	462,920	462,910	△10	

高齢者部会

高齢者部会長 鵜田 信行

今年度、高齢者部会を運営する事になった鵜田です。
市原市内の小域福祉ネットワーク（以下：NW とします）は、各小学校区を単位に設立されております。我が東海・海上小中学校区の NW は様々な部会が有り、それぞれが目標を持って活動している中、高齢者部会においては、お年寄りの

① 一人暮らしの方

② 障害の有る方

などの家庭を中心に、安心・安全を主体とした「見守り活動」を実施するよう、平成29年3月からスタートしました。これらを運営するにあたり、前年度の部

会長並びに部会員の方が、社会福祉協議会の担当者と度重なる打合せをして発足したものです。

まだ、見守りをしてほしいと申請された方は少数で有ります、しかし、今後は核家族化が徐々に進行していく事は否めないと思います。見守り支援者や見守り要請者は、是非地元町会長に相談していただきたいと思います

新規見守り支援者は簡単な研修（2時間程度）を受けていただき、終了後「見守り支援者証」を発行致します。

この制度立ち上げにご尽力くださった、前部会長下川原町会・深見氏、立ち上げ委員会に賛同いただいた方々に感謝申し上げます。

子どもたちの健全育成

青少年部会長 森田 浩道

この度の東海小・中学校区小域福祉ネットワークの役員改選に伴い青少年部会長をお受けすることになりました。この重責を肝に銘じ、皆さまの協力をいただき全力で努めて参る所存です。

青少年部会の活動方針は、子どもたちの健全育成の推進です。特に子どもたちの登下校時における安全な

見守り体制への取組みを実施するとともに、児童との交流の場づくりの推進を図ります。今年度の活動は毎月第二水曜日に各拠点にて、登校時の『挨拶声掛け運動（見守り）安全指導』を行います。又、七月の夏休みには、東海小学校のサマースクールに合わせて楽しい工作教室の実施、一月には正月遊び・昔の遊びの実施を計画しています。

子どもたちが毎日歩く通学路は、交通量の多い道路や交差点、歩道がなく見通しの悪い危険な場所がたくさんあります。見守活動は、ある一定時間同

一場所にとどまる等して、登下校時の子どもたちを見守る事です。自宅の周りの『掃除をしながら』とか『花に水をやりながら』とか『犬の散歩をしながら』など、日常的に行う事を子どもたちの登下校の時間帯に合わせるなどちょっとした工夫で活動することが出来ますので、ご協力をお願いします。

各家庭の宝であり、地域の宝である子どもたちが、安全・安心して学校生活が送れるよう、通学路の除草等・登下校時の見守りをお願い致します。



東海・海上地区防犯協会の総会及び活動状況について

環境部会長（防犯協会会長） 小出 博司

平成29年7月9日の総会では、平成28年度活動報告及び決算報告・監査報告後、平成29年度活動方針及び活動計画が承認されました。

主な活動計画は次のとおりです。

1. 防犯意識の向上（犯罪の抑止・被害防止の啓発活動・振り込め詐欺撲滅対策）
2. 防犯性向上の地区の形成（防犯関係機関及び五井支部との合同による防犯パトロール実施。東海地区（下川原・金川原・七つ町・廿五里各町会）は6月17日、海上地区（今富町会）は9月17日）（犯罪予防に関するパトロールの実施啓蒙活動）
3. 子育て家庭への支援（小学校登下校時の「見守り隊」「見守りあいさつ活動」実施）（青少年非行防止のための活動及び協力）（振り込め詐欺防止パンフレット配布）

防犯協会は、「犯罪のない安全で安心して生活できるまちづくり」の実現のため、今後も更に各種団体と連携し、地区住民の防犯意識の高揚を図り、効果的な防犯活動を推進し、犯罪の防止する中で、防犯活動への取り組みの輪を更に大きく広げています。

防犯指導員等はグリーン帽子と「いきいきネット」名入黄色いベスト着用し青少年部会は赤いジャンパー着用し、高齢者部会等とともに、小学校児童の登下校時「見守り隊」として8カ所の地区で実施していきます。特に児童の下校時刻に合わせて地域の皆様の「見守り活動」「お帰りなさいのあいさつ活動」を実施することにより、更に子供の安全な下校が確保され、不審者に対する大きな抑止力になるのではないかと考えています。東海・海上地区防犯協会は、今後も積極的に活動していきますので、皆様方のご協力を宜しくお願いいたします。



自主防災組織活動の活性化
 防災部会長 山越 照太郎

近年、日本では、阪神・淡路大震災、東日本大震災、糸魚川大火、全国各地での大規模水害等々が発生し、大きな被害に見舞われました。改めて日本は災害の多い国だと気づきます。今後も多くの災害の発生が予測されますが、災害は防ぐことはできなくとも、被害を軽減することはできます。

阪神・淡路大震災では、救出された人の8割が、家族や近所の住民によるものであり、国を始め行政による対応では、被害者の救助等の限界が明らかになりました。重要なことは住民自身・相互の活動です。

火災が発生して先ずやるべきことは、自らの命を自らが守ることです。自分が助からなければ他人は助けられません。次は、地域や身近にいる人同士がお互いを助け合う、所謂、自分たちの地域は自分たちで守ることです。このことを住民一人ひとりが、日頃からしっかり意識しておくことが大切です。

市原市では、過去の大規模災害の教訓を踏まえ、市民の生命、財産を守るため地域防災計画を策定しており、主に、地震、風水害など大規模災害対策に係わる災害予防計画、災害応急計画、災害復旧計画で構成されています。この計画では、特に、自主防災組織の結成を促し、住民の役割を明らかにしています。

自主防災組織の主な活動内容としては、防災に関する知識の普及、防災用資機材の整備、救出・救助活動、避難場所の確認、避難所の運営などです。

ところが、せっかく結成した自主防災組織でありながら、ほとんど実態がない或いは活動が停滞気味の地域が多く見受けられます。自主防災組織の活動無くしては、被害の軽減を図ることは困難です。

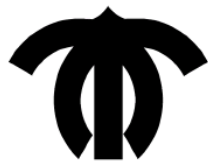
自主防災組織の活動には市からの支援策がありますので、これらを利用して地域における災害による被害の防止及び軽減に取り組んでいただきたいと思います。

【参考】市原市では地域防災計画を策定し以下のURLで公開していますので、一読されてはいかがでしょうか。

<https://www.city.ichihara.chiba.jp/joho/kankoubutujyoho/bousaianzen/26bousaieikaku.html>

市原市地域防災計画

(資料編)



平成27年3月修正
 市原市防災会議

市原市地域防災計画

(対策編)



平成27年3月修正
 市原市防災会議

いきいき広場の活動状況について
運営協議会会長 秋葉 茂樹

地区民の皆様、平素よりいきいきセンター東海・海上「いきいき広場」の事業活動にご支援・ご協力頂き、感謝申し上げます。

さて、去る6月28日(水)に昨年に引き続き、中谷の田中はつ先生のご指導のもと、第2回目の「フラワー作り教室」を開催しました。今回は25名の参加があり、「バラの花作り」を題材として、皆さんに花作りを挑戦していただきました。その結果、完成した作品を見てその出来栄えに喜びもひとしおではなかったかと感じております。最後に皆さんで完成品を手に持ち、記念撮影を行い、続いて茶話会を実施し、皆さんで交流を深めました。

また、7月26日(水)に「ふる里の歴史講座」を開催し、33名の参加をいただきました。この事業は、毎年12月に実施しております歴史講座に加え、金川原町会からの要望を受け、新たに実施したものであります。講師に市原市郷土史家青柳至彦先生をお迎えし、演題に「海保の歴史を歩く」についてご講演をいただきました。内容については、大塚山の経緯や海保の城跡について詳しく説明していただきました。引き続き茶話会を実施し、短い時間でしたが、地区民相互の親睦が図られたことではないかと感じております。

今後も地区民の皆様が参加できるような事業を計画しておりますので、よろしくお願いたします。(10月に地区対抗の輪投げ大会を実施予定)

平成28年度収支決算報告				
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)				
		収入金額	184,889円	
		支出金額	184,889円	
		差引残高	0円	
収入の部		(単位：円)		
科目	予算額	決算額	増減	備考
助成金	182,000	182,000	0	各町会からの助成金
使用料	3,000	2,500	△500	いきいき広場使用料
雑収入	60	389	329	預金利子4 地域福祉費から(茶話会) 残金385
合計	185,060	184,889	△171	
支出の部				
科目	予算額	決算額	増減	備考
光熱費	130,000	97,840	△32,160	電気料金(3月～2月)分
保険料	0	10,000	10,000	賠償責任補償(免責額)
会議費	4,000	0	△4,000	お茶代
備品費	10,000	0	△10,000	
消耗品費	31,060	29,968	△1,092	印刷機トナー代
環境保全費	10,000	18,354	8,354	簡易トイレ汲取料、清掃用品、肥料、黒土
決算残金	0	28,727	28,727	
合計	185,060	184,889	△171	
平成28年度修繕費積立金 (単位：円)				
項目	修繕費積立金		備考	
いきいきセンター東海・海上改修費残金	393,388		平成28年3月31日	
平成28年度運営協議会決算残金	28,727		平成29年3月31日	
合計	422,115			

